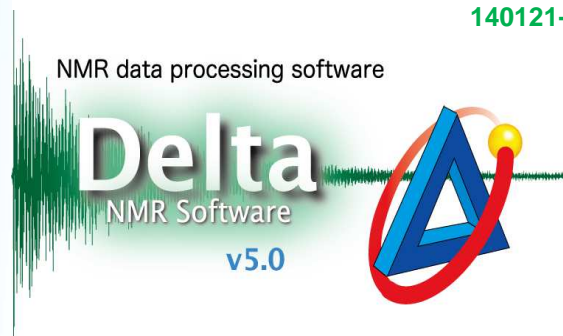


# Delta Tips

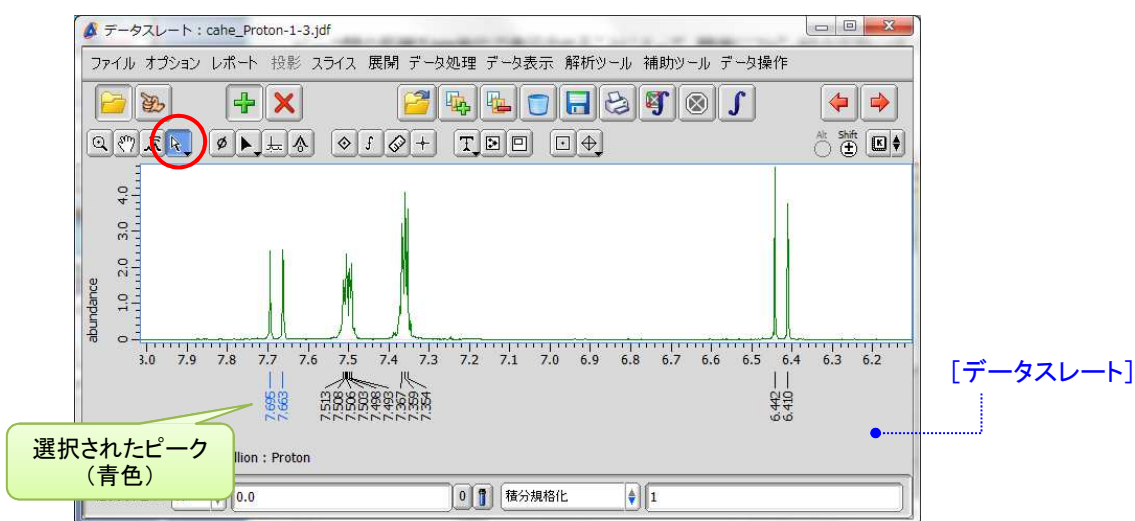
NMDT\_0020

## スピン結合定数(J値)を読む



ピーク間の距離をHz単位で表示させることによって、簡単にスピン結合定数(J値)を読み取ることができます。はじめにプロセッサウインドウあるいはデータスレートでピークピックを行います。ここではデータスレートの例で説明します。

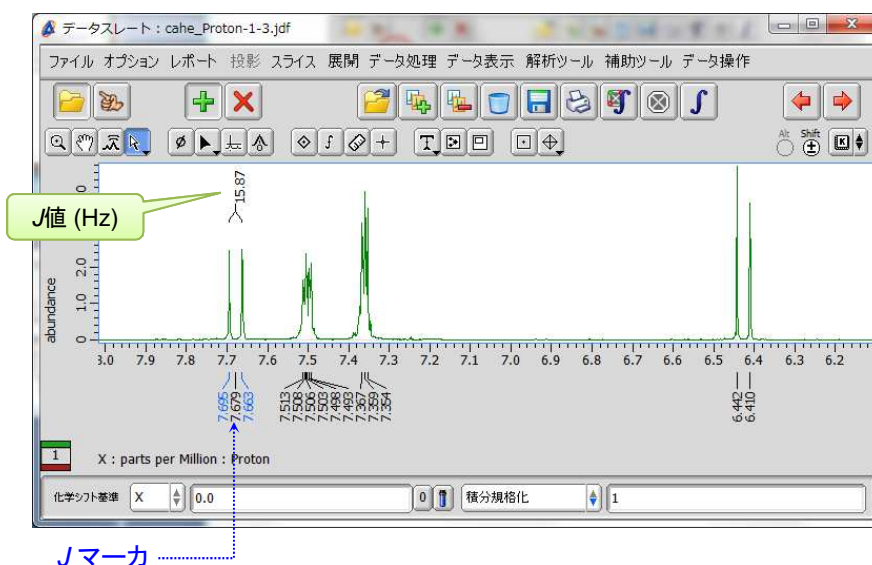
① [Select]をクリックし、J値を表示したいピークをマウスでドラッグして選択する。



★ キーを押しながら をクリックすると、任意のピークを選べます(追加選択)。

② キーボードの キーを押すと、ピーク間距離がHzで表示される。

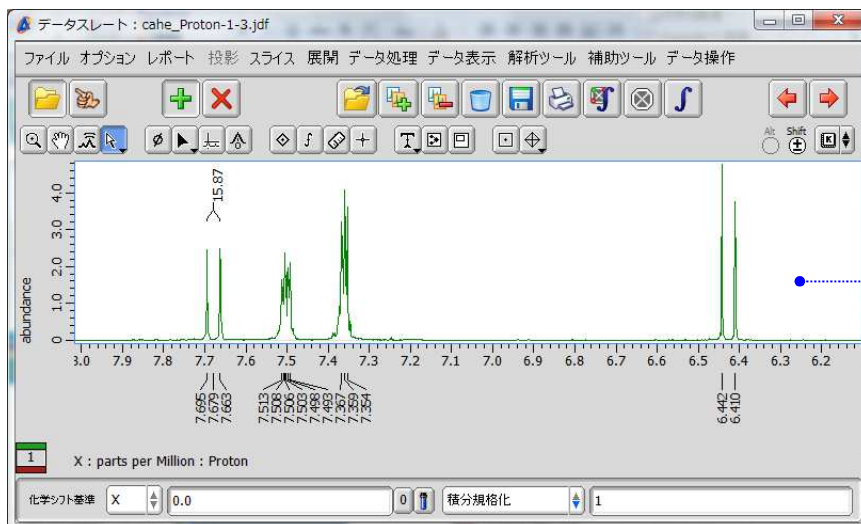
⇒ ピーク間にJマーカが表示されます。





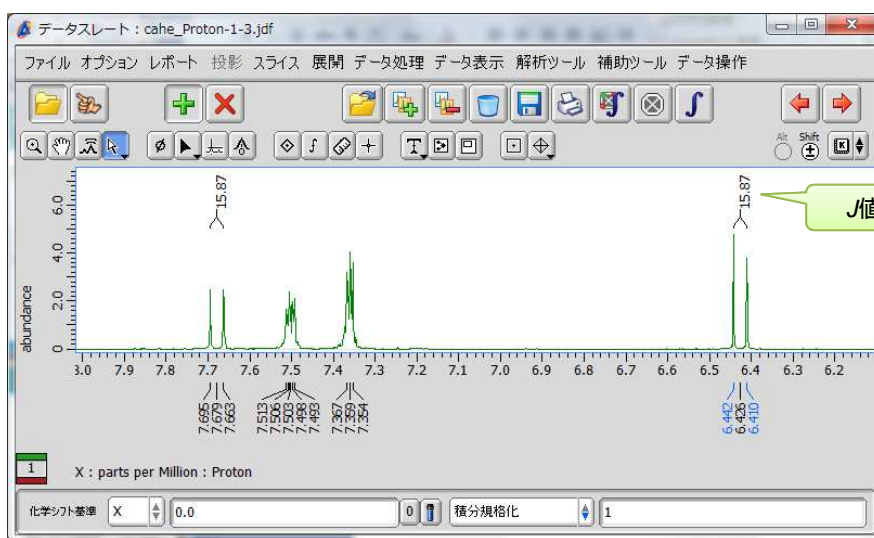
### ③ 別のピークのJ値を読む場合は、一旦選択を解除する。

⇒ スペクトルエリアをクリックするかキーボードの **[U]** キーを押すと選択が解除されます。



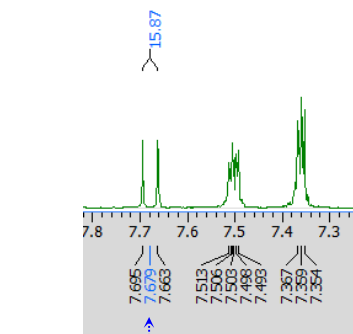
スペクトルエリア

### ④ **[select]** でピークを選択してキーボードの **[J]** キーを押すと、J値が表示される。

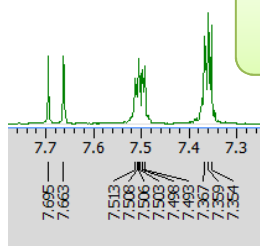


J値 (Hz)

★ J値の表示を消す場合は、Jマーカを選択してキーボードの **[Delete]** キーを押すと削除されます。



Jマーカ



動画での説明もご覧ください。  
<http://www.j-resonance.com/movie/delta/>

